

千里丘戦争

千里丘戦争…。マンションや戸建建設業界が、吹田市千里丘地域を相次いで開発し、競うように販売合戦を繰り広げて、はや数年。吹田市が乱開発に対して規制をかけてこなかったため、緑豊かな千里丘地域は、マンション業界の「草刈り場」となり、いつしかこの地域での開発競争は「千里丘戦争」とまで呼ばれるようになった。明けて2007年、この「千里丘戦争」の仕上げというべき、大規模開発が進行中だ。日生団地の森と毎日放送。双方合わせて約30ヘクタールという緑が今、削られようとしている。



森ひとつ分が消える

キツネはどこに行ったのだろうか？

10ヘクタールの広大な住宅を含めた山林が、マンションと戸建住宅に開発されてしまうんや」「この日生団地の森にはキツネが住

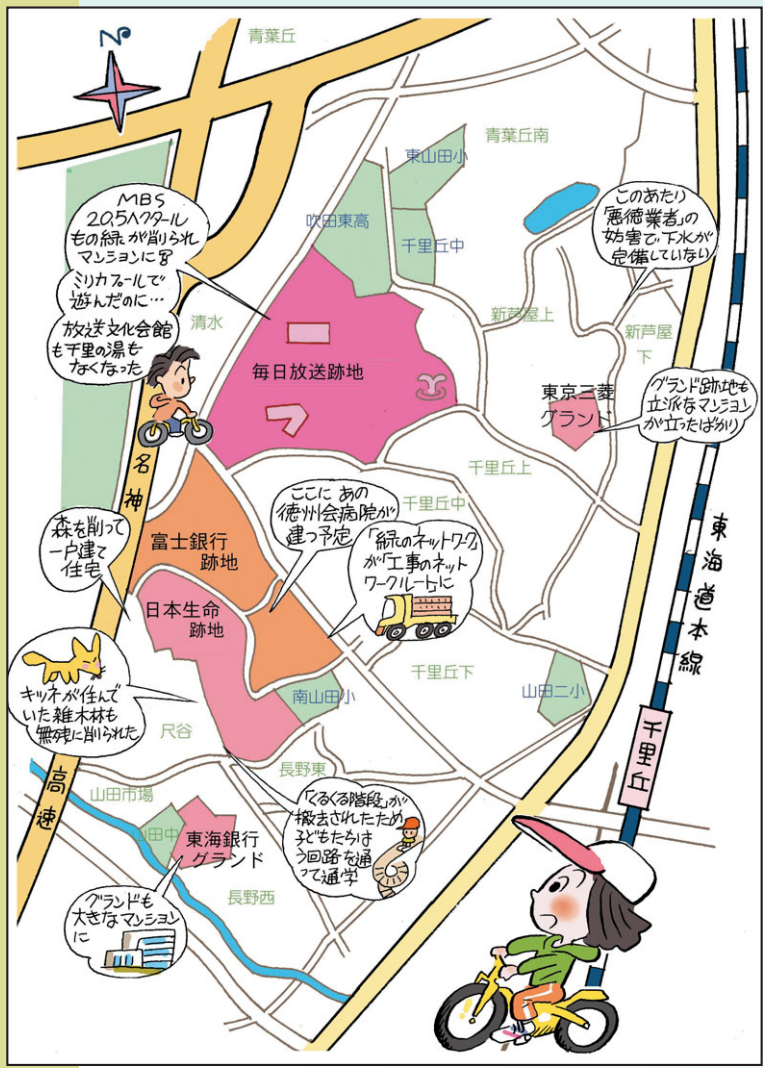
んでいたそうですね。キツネはどこかに逃げていったのかな？」「この道、『緑のネットワークルート』と銘打っていますが、両サイドは工事現場になりましたよ。これでは『工事のネットワークルート』やないですか。写真で見ると、無残にも山が削られ、大規模な整地工事が進行中だ。

山を削ってマンションが建つ



「あれ、これはひどい！」

山一つ分が更地にされていますよ。吹田市東消防署の看板の向こうに大きなクレーン車と、「大自然に囲まれた癒しの空間」というマンションの宣伝看板。ブルドーザーで山を削っておきながら、「大自然に囲まれた」もないだろう。



毎日放送 千里の湯廃業



ウルトラマンはどこへ行く？

1千メートル以上も掘ったのに、これもパーですわ」「このウルトラマンはどうなるのかな？」

報道によると、13ヘクタールの敷地が、開発業者に売却され、数百戸のマンション、戸建、老健施設などが建設された次第。このフォレストシティーの隣に1枚の「開発予告掲示板」が。



緑のネットワークルートが工事のネットワークルートに

「この広大な敷地が売却されて、マンションになるっていつワサ、本場の湯の源泉、『千里の湯の源泉』」

「ミリカプールも終わりですね」「私、あそこでスケートしたのが良い思い出やったのになー」。毎日放送本社屋はもちろん、千里の湯をはじめ、放送文化に様変わりするという。

「この徳州会病院予定地の横に、細い『緑のネットワークルート』と書かれた細い道。この『緑のネットワークルート』をチャリリンコで走る。



歩道橋が取りはずされ、通学路は回り道に

「あそここの歩道橋が取り除かれているやろ。この工」

事のために通学路が使えなくなつたから、児童は迂回路で通学しているんや」「町の風景が一変してますね」「南山田小学校の校区ですが、果たしてこれだけ大規模なマンションや戸建分譲が来たら、小学校パシクするん違いますか？」「だから行政が規制をかけて、緑を削らないですむ解決策を提示すべきやうな気がする。現在の市長になつてから8年、吹田では大規模開発がストップしたことがない」「そやから『千里丘戦争』になつたんですね。」

千里ニュータウンや万博公園は、開発後に植樹した、いわば「人工の森」だ。しかしこの日生団地の森は昔ながらの「自然の里山」だった。子どもたちのためにもキツネが生息する環境を、残すべきだったのでは？

